

「中間まとめ」に関する地域説明会 大石田会場アンケートの概要

1 アンケート回答数

参加者数	回答者数	回答率
22名	17名	77.3%

2 回答者の居住地

大石田町	尾花沢市	東根市	新庄市
5名	6名	5名	1名

3 どのような立場で参加したのか（複数回答）

ア 地区内の小学生の保護者として	3名（17.6%）
イ 地区内の中学生の保護者として	4名（23.5%）
ウ 地区内の高校生の保護者として	1名（5.9%）
エ 地域の住民として	2名（11.8%）
オ 地区内の4高校の同窓生として	2名（11.8%）
カ 教育関係者（教職員・教育行政関係者など）	12名（70.6%）
キ その他	0名（0%）

（％は、アンケート回答者17名の中での割合）

4 参加理由（複数回答）

ア 「中間まとめ」の内容を知りたい	15名	イ 会場での意見を聞きたい	6名
ウ 自分の意見を述べたい	1名	エ その他	0名

5 説明内容について

ア わかった	5名	イ おおむねわかった	10名
ウ あまりわからなかった	1名	エ わからなかった	0名
無回答	1名		

6 寄せられた主な意見

【教育内容や活動に関する内容】

東南村山地区に流れる進学希望者を、地元の高校に向けさせる進学校であってほしい。

【学校の配置に関する内容】

学校規模、学校の活用、地域性の観点から3校案は理解できる。再編にあたっては、生徒・保護者のニーズに合った学科(定員を含めて)編成が大事だと思う。

保護者の参加が少ないのはどういう理由なのだろうか。いろいろ考えられると思うが、切迫感がないのではないか。教育関係者からすれば、高校入試という大きな責任を感じるものだけに、興味・関心も大きいですが、実際の保護者にとってはなんとかなるような感覚があるような気がしてならない。しかし、こういう草の根的活動(説明会やアンケート)は非常に大切であるし、方向性は正しいと思う。

個人的な意見として、普通高校・総合的高校・職業高校(工業・農業等)の3校がベストと考える。ただ、各校にどのような特色を持たせるのか…。アピールポイントをより強調できる学校になればと思う。

今後の方向性がまだ明確でない。いつどうなるのか、やっぱりならないのか、そこが不透明である。

東根工業高校と村山農業高校で1つ。他の2校は現状のまま。

1学年250名くらいの規模の高校が望ましいと考える。

北村山高校は大石田町と尾花沢市の高校である。ぜひ残してほしい。

【その他の内容】

半数の参加者が、大石田・尾花沢地区の校長・教頭である。保護者を集める工夫が必要。

参加者に、中学校・小学校の保護者が少ないのが残念である。もっとPRしていく必要があった。どんな方法でPRすればよいか、よく分からないが。

「中間まとめ」の内容が抽象的で、20年2月の報告書がどのような内容になるのかイメージできなかった。質問に対する説明もほとんど理解できなかった。

とにかく、子どもたちにとって魅力ある学校をつかって、私たちに提供していただきたいと思う。

以上